

# Concert Romantique et Comique -12

2020年 3月8日(日) 19:00開演 入場料: 3000円

会場: 西武池袋線大泉学園駅直結 ゆめりあホール (TEL: 03-5947-2351)

\*\* 人は誰だってロマンティックで居たいもの そんな人も他人から見ればかなりコミック \*\*

## O mon bel inconnu 未だ見ぬひとよ

(レナルド・アーン作曲 オペレッタ)

原作/サーシャ・ギトリ 日本語台本・日本語字幕/三橋洋子 ピアノ/安田結衣子

今回は、コンセール・ロマンティック・エ・コミック10回目で公演したレナルド・アーン作曲のオペレッタをお楽しみ頂きます! 舞台は1930年代のパリ 帽子屋の店主 プロスペールは日々の退屈を紛らわすため、雑誌に文通相手募集の広告を出す。返事は131通! しかし その中に見覚えのある封筒が2通・・・波乱の幕開けとなった!



↑プロスペール・オベルタン (村田健司) 48歳  
パリの帽子店経営者。商売30年のベテラン。



アントワネット・オベルタン  
(←三橋洋子) 39歳  
プロスペールの妻  
19歳で見合い結婚をする。



マリー・アンヌ・オベルタン  
(森下奈美→) 19歳。  
オベルタン家のひとり娘。  
生真面目な性格ながら  
密かに婚活中。



フェリシー (丸山美樹) 25歳。  
オベルタン家の女中。  
玉の輿を狙って婚活中。



イラリオン・ラリュメット  
(←青地英幸) 41歳。  
プロスペールの親友。  
生まれつきのろうあ者。  
切手収集家。



グザヴィエ・ティニャルドン  
(←仲俣 聡) 54歳。  
帽子店の店員。真面目に勤めているのに  
なぜか 皆から邪魔者扱い。



ジャン・ポール↑  
(村田健司、2役目)  
22歳の学生。理由あって  
熟女のお尻を狙っている。  
イスラム教徒。  
お金持ちのボンボン。



ムシュー・ヴィクトール (仲俣 聡、2役目)  
49歳。 独身。  
サン・ジャン・ド・リューズの別荘のオーナー。

(PHOTO : Setsuko Hara 第10回公演より)



お問合せ先: アトリエ・デュ・シャン  
〒178-0063 練馬区東大泉 3-29-20  
アトリエ・デュ・シャン 代表: 村田健司  
TEL/FAX: 03-5387-0977  
Email: [info@atelier-d-c.com](mailto:info@atelier-d-c.com) hp: [www.atelier-d-c.com](http://www.atelier-d-c.com)



結婚生活も20年続けば、何かと割り切れなさが表面に現れるもの・・・

パパ 「問題がないということが 幸せとは限らない！」

ママ 「恋を知らずに19歳で結婚。 それから20年、女を諦めきれない。」

娘 「とにかく恋がしたいし、結婚もしたい！真面目に考えているのに・・・」

店員 「なんで私は いつも 邪魔者なのか…？」

女中 「戯れの恋はもうおしまい！ 輝く未来が待ってるの。玉の輿を狙うわ！」

パパの親友「一生筆談で過ごすのか？ ろうあを治す手立てはないのか？」

大家 「寂しい独身生活 広すぎる別荘を管理する生活・・・」

客J・P 「熟女の〇〇に触って、モテる男になりたい！」



こんな人たちが引き起こすありそうでなさそうなお話です！皆様のお越しをお待ちしております！

## コンセール・ロマンティック・エ・コミックとは？

2007年2月「ロマンチックでコミカルな楽しいコンサート」をキャッチフレーズに、始めたコンサートシリーズ。 主催はアトリエ・デュ・シャン。

解説付き、字幕付きで、分かりやすいコンサートをモットーとしています。

**第1回目 「愛のかたち」** 3か月 1年 10年の愛のかたち 失恋 道ならぬ恋など、それぞれのテーマに沿った歌曲と、メロディ「テレフォン」をお楽しみいただきました。

**第2回目 「パリへの旅」** 田舎にはもうウンザリ、パリへと上京するオジサンストーリーに沿ったプーランクの歌曲、モノオペラ「人の声」、ほかをお楽しみいただきました。

**第3回目 「ローズ・ダムール (バラは恋の花)」** メサジェ「ムシュー・ボーケール」恋の花バラを巡って、イギリスの社交界で繰り広げられる恋のお話。「花」や「バラ」がテーマ。

**第4回目 「ボン・ヴォヤージュ」** メサジェ「クー・ドゥ・ルリ」戦艦モンテスキュー号を舞台に繰り広げられるオペレッタ。 世界を舞台にしたフランス歌曲をお楽しみいただきました。

**第5回目 「Nuit et Jour・・・」** (夜と昼) 夕方から始まり夜中、そして明け方。 それぞれの時間を追ったフランス歌曲、メサジェ「ヴェロニク」フィアンセの一日をお楽しみいただきました。

**第6回目 「Poulenc...Poulenc? Poulenc!!」** プーランクって誰？

小象ババールの物語、モノオペラ「人の声」、色々な歌曲をお楽しみいただきました。

**第7回目 「キャンドル・ナイト」** メサジェ「フォルテユニオ」ろうそく立て、すなわち見せかけの恋人のお話、クリスマス・ソングをお楽しみいただきました。

**第8回目 「メサジェ・コネクション」** メサジェと縁のある作曲家の作品から メサジェの人間像に迫りました。 後半は「シプリアンはお役御免」をお楽しみいただきました。

**第9回目 「ベル・エポック」** 1800年末から1900年初めの古き良きフランスの音楽をお楽しみいただきました。 後半は「可愛い郵便局長」をお楽しみいただきました。

**第10回目 「未だ見ぬ人よ」** 10回目を記念して、レナルド・アーンのエペレッタ 未だ見ぬ人よ・・・を上演いたしました。 パリの帽子屋一家に起こるお話でした。

**第11回目 「パリのキャバレー」** パリの文学カフェから始まったキャバレーの世界。 後半は「シプリアンはお役御免」をお楽しみいただきました。



**アトリエ・デュ・シャン (歌の工房) 主宰： 村田健司 (バリトン・レジェ)**

東京藝術大学声楽科卒業、フランス政府給費留学生としてパリ音楽院に留学。

中山悌一、古沢淑子、疋田生次郎、ジャック・ジャンセン、カミーユ・モラーヌに師事。

1984年 文化庁芸術祭優秀賞 受賞 二期会会員。

フランス人と日本人が共有する豊かな感性にスポットを当て、フランス音楽を楽しみながら言葉の壁を乗り越えることをモットーに指導、音楽活動をしている。

ゆめりあホールでは、アトリエ・デュ・シャンのメンバーによる、フランス・オペラ・ハイライト

のコンサート「アール・リリック」や、メサジェのエペレッタなど、パリの粋なオペレッタを上演する「テアトル・オペレッタ・フランセーズ」などを毎年上演している。